

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・地歴（日本史）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は5問6ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 地理歴史（日本史）

1 次の（1）～（10）の問いに答えよ。

- （1） 北米自由貿易協定（NAFTA）に代わり、2020年に発効したアメリカ合衆国、メキシコ、カナダ間で結ばれた自由貿易協定を何というか、協定の略称をアルファベットで記せ。
- （2） 2020年以降、世界の平均気温上昇を産業革命前と比較して1.5℃に抑える努力を追求している、2015年に採択された国際的な枠組みを何というか、記せ。
- （3） 日本の支援などによってサケ・マス類の養殖が始まり、2018年にサケ・マス類の生産量が世界2位となっている南半球の国はどこか、記せ。
- （4） 前264年から前146年に行われた、ローマがカルタゴに挑んだ3回にわたる戦争を何というか、記せ。
- （5） ダマスクスを首都とし、661年から750年まで続いた史上初のムスリム世襲王朝を何というか、記せ。
- （6） 代表的なハワイ民謡「アロハオエ」の作詞者でもあるハワイ王国最後の女王は誰か、記せ。
- （7） 1247年、北条時頼と、その外祖父安達景盛が有力御家人三浦泰村を破った戦いを何というか、記せ。
- （8） 日蓮宗（法華宗）の総本山で、日蓮が甲斐国身延山に建てた寺院を何というか、記せ。
- （9） 1891年、訪日中のロシア皇太子ニコライが、滋賀県で巡査に切りつけられた事件を何というか、記せ。
- （10） 中華人民共和国の習近平国家主席が2013年に提唱した、中華人民共和国とヨーロッパをつなぐ広域経済圏構想を何というか、漢字で記せ。

2 次の（1）、（2）の問いに答えよ。ただし、それぞれ指定した字数で記せ。

- （1） 墾田永年私財法（743年）について、この内容と目的、影響を100字以内で説明せよ。
- （2） 寛政異学の禁について、この内容と政策が出された目的を120字以内で説明せよ。

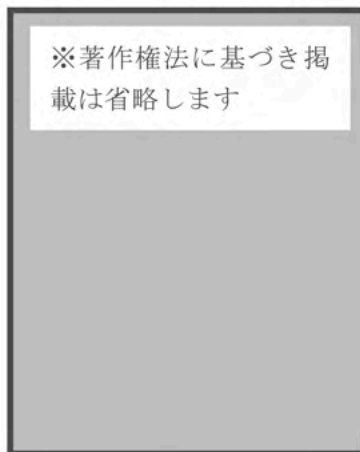
3 A～Cに関して、(1)～(10)の問いに答えよ。

A 大臣の蘇我馬子が587年に大連の を滅ぼし、592年には 天皇を暗殺して政治権力を握った。そして、推古天皇が新たに即位し、国際的緊張のもとで蘇我馬子や推古天皇の甥の厩戸王（聖徳太子）らが協力して国家組織の形成を進めた。603年には①冠位十二階、翌604年には憲法十七条が定められた。

6世紀末から、奈良盆地南部の飛鳥の地に大王の王宮（大王宮）が次々に営まれた。7世紀前半に、蘇我氏や王族により広められた仏教文化を、②飛鳥文化という。

- (1) 文中の a, b に当てはまる人物を、それぞれ記せ。
- (2) 文中の下線部①について、その目的を説明せよ。
- (3) 文中の下線部②について、次の写真が示す像の名称を何というか、空欄ア、イに当てはまる語句を、それぞれ漢字で記せ。

法隆寺金堂



中宮寺



B 次の年表は、14世紀と15世紀の主な出来事をまとめたものである。

年	出来事
1334	③後醍醐天皇は、年号を建武に改めた。
	⇕ W
1350	観応の擾乱が始まった。
	⇕ X
1392	④南北朝の合体。
	⇕ Y
1428	⑤正長の徳政一揆が起こった。
	⇕ Z
1467	応仁の乱が始まった。

- (4) 年表中の下線部③について、この人物が行った建武の新政における主要政務機関で、鎌倉幕府の引付を受け継ぎ、主に所領問題などの訴訟の裁決を行った機関を何というか、記せ。

- (5) 年表中の下線部④について、次の文章は、南北朝の動乱が長引いた背景を説明したものである。ア～エに適する語句を、それぞれ記せ。

動乱が長引いた背景には、鎌倉時代後期頃から始まっていた（ア）の解体があった。遠方に住む一族との（イ）的結合よりも、近隣に住む武士どうしの（ウ）的結合が重視されるようになった。また、嫡子がすべての所領を相続して、庶子は嫡子に従属する（エ）相続が一般的になった。こうした変化は各地の武士団の内部に分裂と対立を引き起こし、一方が北朝につけば反対派は南朝につくというかたちで、動乱を拡大させることになった。

- (6) 年表中の下線部⑤について、このことを説明した文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア 近江坂本の馬借が徳政を要求したことを契機に、農民勢力が一部の都市民や困窮した武士とともに京都の土倉・酒屋などを襲い、質物や売買・貸借証文を奪った。
 イ 南山城の国人らが、両派に分かれて争っていた畠山氏の軍を国外に退去させ、8年にわたり一揆が自治的支配を実現した。
 ウ 加賀の浄土真宗本願寺派の門徒が国人と手を結び、守護富樫政親を倒して、約100年にわたり国を支配した。
 エ 將軍義勝の代始めに、数万人の土一揆が京都を占拠した。幕府は土一揆の要求を入れて徳政令を発布した。

- (7) 年表中のW～Zの期間に、次のア～ウの出来事を加える場合、いずれの期間に加えるべきか、表中のW～Zからそれぞれ一つずつ選び、記号で記せ。

ア 近江・美濃・尾張の3か国に、半済令がはじめて発布された。
 イ 將軍足利義教が殺害される。
 ウ 明との間に勘合貿易が始まる。

C 11代將軍徳川家斉による半世紀におよぶ長い治世のもと、文化・文政期を中心に、⑥天保の改革の頃までの時期に栄えた文化を⑦化政文化と呼ぶ。この文化は、都市の繁栄、商人・文人の全国的な交流、出版・⑧教育の普及、交通網の発達などによって、さまざまな情報とともに全国各地に伝えられた。

- (8) 次の川柳は、文中の下線部⑥のある法令に対して詠まれたものである。何の法令について詠まれたものか、下のア～エから一つ選び、記号で記せ。

水引いて十里四方はもとの土

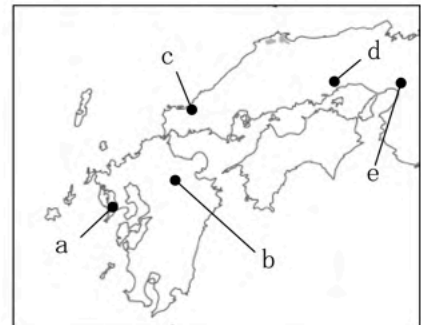
ア 人返しの法 イ 儉約令 ウ 上知令 エ 棄捐令

(9) 文中の下線部⑦に関して、この時期に活躍した代表的な人物をア～エから、この時期の代表的な作品をA～Dから、それぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ア 円山応挙 イ 松尾芭蕉 ウ 小林一茶 エ 本阿弥光悦
 A 南総里見八犬伝 B 十便十宜図 C 金々先生栄花夢 D 冥途の飛脚

(10) 文中の下線部⑧に関して、学者たちにより新たな私塾が各地に開かれた。次のア～ウは、それらの私塾について述べたものである。ア～ウの私塾が開かれた場所として最も適切なものを、地図中のa～eからそれぞれ選び、記号で答えよ。

- ア 蘭学者の緒方洪庵が開いた適々斎塾（適塾）
 イ ドイツ人のシーボルトが開いた鳴滝塾
 ウ 儒学者広瀬淡窓が開いた咸宜園



4 次の近代・現代に関するA～Cの文章を読み、(1)～(6)の問いに答えよ。

A 明治初期、日本が近隣諸国との外交関係を樹立するに際して、1871年に清国との間にほぼ対等な日清修好条規が結ばれた。1880年代には朝鮮半島への影響力の拡張を巡って日本と清国との間には対立が生じ、日清戦争へとつながった。その後、清国をめぐり東アジアにおいて列強主要国の対立・緊張が増大した。20世紀初頭には、ヨーロッパにおいても列強主要国の対立が顕在化していった。

(1) Aの文章に関して、次のア～ウはこの時期に描かれた風刺画である。風刺画が描かれた時期を、古いものから年代順に並びかえ、記号で記せ。

ア

※著作権法に基づき掲載は省略します

イ

※著作権法に基づき掲載は省略します

ウ

※著作権法に基づき掲載は省略します

B 明治期の産業は、1880年代前半にいわゆる①松方財政が展開され、一時は不況が深刻になった。しかし、貿易が輸出超過に転じ、銀本位制も確立すると物価が安定し、金利が低下して株式取引も活発になり、産業界は活気づいた。②1880年代後半には鉄道などを中心に会社設立ブームがおこり産業革命が始まった。また、1890年代になると繊維産業を中心として、資本主義が本格的に成立した。

(2) 文中の下線部①に関して、70字以内で内容とその結果を説明せよ。

(3) 文中の下線部②に関して、次の表は、1885年と1899年の日本における貿易の様子を示している。X～Zは、綿糸、綿花、生糸のいずれかである。X～Zに当てはまる品目を、それぞれ記せ。

表 日本の上位5品目の輸出と輸入の内訳 (%)

	1885年		1899年	
	輸出品	輸入品	輸出品	輸入品
1位	X (35.1)	Y (17.7)	X (29.1)	Z (28.2)
2位	緑茶 (18.0)	砂糖 (15.9)	Y (13.3)	砂糖 (8.0)
3位	水産物 (6.9)	綿織物 (9.8)	絹織物 (8.1)	機械類 (6.2)
4位	石炭 (5.3)	毛織物 (9.1)	石炭 (7.1)	鉄類 (5.4)
5位	銅 (5.0)	機械類 (6.6)	銅 (5.4)	綿織物 (4.2)

(「日本貿易精覧」より作成)

C 1945年10月、内閣はGHQに憲法改正を指示され、憲法問題調査委員会を政府内に設置した。新憲法制定は手続き上、大日本帝国憲法を改正する形式をとり、改正案は衆議院と貴族院で修正可決されたのち、日本国憲法として1946年11月3日に公布され、1947年5月3日から施行された。この時期、多くの法律の制定あるいは大幅な改正が行われた。経済分野においては、民主化を進めるため、1947年に持株会社やカルテル・トラストなどを禁止するいわゆるや、巨大独占企業の分割を目的とするが成立した。また同年、新憲法の精神にもとづいて、③民法や刑法が改正された。

(4) 文中のaに当てはまる人物は誰か、次のア～エから一つ選び、記号で記せ。

ア 鈴木貫太郎 イ 吉田茂 ウ 片山哲 エ 幣原喜重郎

(5) 文中のb, cに当てはまる法律名は何か、記せ。

(6) 文中の下線部③について、改正された民法では新しい家族制度を定めた。どのような内容を定めたか、廃止された内容も含めて説明せよ。

5

次の高等学校学習指導要領に関する問い（１），（２）に答えよ。

- （１） 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 地理歴史編の「日本史探究」では，社会的事象の歴史的な見方・考え方について，次のように説明している。文中の A～D に適する語句を，下のア～カから選び，それぞれ記号で記せ。なお，A，C，D には同じ記号が入るものとする。

「社会的事象を，時期，（ A ）などに着目して捉え，類似や差異などを明確にし，事象同士を因果関係などで関連付け」て働かせる際の「視点や方法（考え方）」であると整理した。すなわち，時期，年代，時代など（ B ）に関わる視点，展開，変化，継続など諸事象の（ A ）に関わる視点，類似，差異，多様性，地域性など諸事象の（ C ）に関わる視点，背景，原因，結果，影響，関係性，相互依存性など事象相互の（ D ）に関わる視点，現在との（ D ）などに着目して（ C ）したり，関連させたりして社会的事象を捉えることとして整理したものである。

ア つながり

イ 時間

ウ 依存関係

エ 時系列

オ 推移

カ 比較

- （２） 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）地理歴史科の「日本史探究」の「C 近世の日本と世界」において，「(1)近世への転換と歴史的環境」を扱うとした場合，あなたならどのような学習指導を展開するか，社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫を取り入れた学習指導の展開例を記せ。その際，次の語句を必ず一度は使い，最初に使用した箇所には下線を付せ。

刀狩り

貿易

転換

戦乱

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

※

--

----- 切り取らないこと -----

令和6年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※

--

高等学校 地理歴史（日本史） 解答例

1	(1)	USMCA	(2)	パリ協定	(3)	チリ	(4)	ポエニ戦争
	(5)	ウマイヤ朝	(6)	リリウオカラニ	(7)	宝治合戦	(8)	久遠寺
	(9)	大津事件	(10)	一带一路構想	②×10			

2	(1)	開墾した田地を永年にわたって補償するもので、政府が輪祖田である墾田を掌握し、土地支配の強化を目的とした政策。貴族・寺院や地方豪族の大規模な開墾により私有地拡大が進み、初期荘園が広まるきっかけとなった。 (100字) ④
----------	-----	--

(2)	朱子学を正学とし、1970（寛政2）年には湯島聖堂の学問所で朱子学以外（異学）の講義や研究を禁じ、学術試験を行って人材登用につなげた。上下の秩序を重んじる朱子学を正学として重視することで、低下した幕府の権威を高めることを目的とした。 (116字) ④
-----	--

3	(1)	a	物部守屋	③	b	崇峻	③			
	(2)	氏族ではなく、個人の才能・功績に対して官位を与えることにより、氏族単位の王朝組織を再編成することを目的とした。						③		
	(3)	ア	釈迦三尊像	③	イ	半跏思惟像 弥勒菩薩像	③	(4)	雑訴決断所	③
	(5)	ア	惣領制	①	イ	血縁	①	ウ	地縁	①
		エ	単独	①	(6)	ア	②			

（裏面に続く）

高・地理歴史（日本史）2

3	(7)	ア	X	①	イ	Z	①	ウ	Y	①	
	(8)	ウ		②	(9)	人物	ウ	①	作品	A	①
	(10)	ア	e	①	イ	a	①	ウ	b	①	

4	(1)	ア ⇒ ウ ⇒ イ ②											
	(2)	紙幣整理，日本銀行設立，兌換制の確立，官営事業払い下げなど，厳しい緊縮政策がデフレを招き，小企業を圧迫し，小作農などは没落した。（64字） ④											
	(3)	X	生糸		①	Y	綿糸		①	Z	綿花		①
	(4)	エ		②	(5)	b	独占禁止法		③	c	過度経済力集中排除法③		
	(6)	家中心の戸主制度を廃止し，男女同権の家族制度を定めた。									③		

5	(1)	A	オ		②	B	エ		②	C	カ		②	D	ア		②
	(2)	<p>村落・都市の支配の変化などに着目し，「太閤検地や刀狩りなどが実施された背景や，その意義は何だろうか」などの課題（問い）を設定し，それらの諸政策が果たした役割について考察したり，アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目し，「国際環境の変化と豊臣政権の対外政策が国内にもたらした影響は何だろうか」などの課題（問い）を設定し，ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響や，アジア諸国と日本との貿易や関係の変化，国内の社会・文化の変容を考察したりする学習を展開する。こうした学習を通じて，中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に表現することで，中世から近世への時代の転換の理解を促していく。生徒がこれまでの学習を通じて生じた疑問を基に，例えば，「なぜ長期間にわたって大きな戦乱が起きない時代を形成できたのか」という時代を通観する問いを表現する学習活動を展開する。 ⑩</p>															